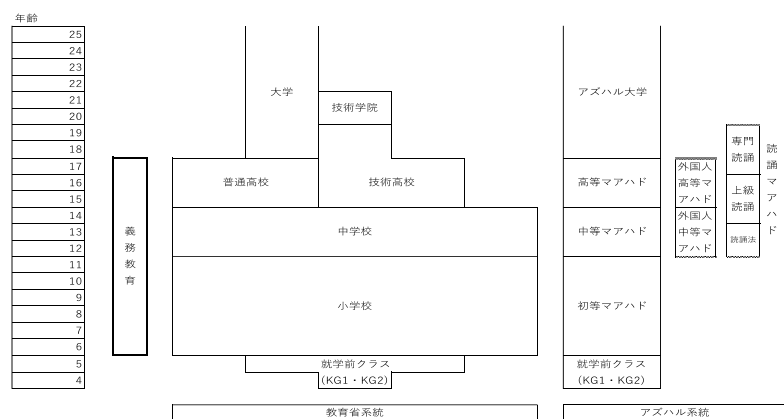


1 エジプトの教育制度の概要

*エジプト・アラブ共和国(以下、エジプト)はアフリカ大陸の北東端に位置し、国土面積約 100 万km²の国です。日本の約 2.7 倍の大きさですが、国土の 90%以上は砂漠なので、エジプトの人々の多くは国土の中央を流れるナイル川の周辺に暮らしています。ナセル元大統領が率いた自由将校団による 1952 年革命を経て立憲君主制から共和制へと移行し、現在の国家元首は大統領が務めています。イスラームが国教と定められており、公用語はアラビア語です(憲法第 2 条)。近年急速な人口増加が続いており、1960 年代まで 3000 万人程度だった人口は半世紀余で 3 倍以上に増えました。2025 年時点の人口は約 1 億 1000 万人です。

*エジプトの教育制度の特徴は二元的な学校系統にあります。一方には、日本の小学校や中学校にあたる世俗的な教科の学習が中心の「マドラサ」(madrasa、一般学校)の系統があり、他方には、イスラームの宗教教育が重視される「マアハド」(ma‘had、イスラーム学校)の系統があります。どちらの系統も幼稚園レベルは 2 年間、小学校レベルは 6 年間、中学校レベルは 3 年間、高等学校レベルは 3 年間、大学レベルは 4 年間で標準的な就学の期間となっています。義務教育は 6 歳から 15 歳となっており、基本的には日本と同じです。ただし、各家庭は子弟が小学校にあがる年齢になると、先ほどの一般学校かイスラーム学校の系統のいずれに通うかを選ぶことになります。なお、一般学校の系統は教育・教育技術省、高等教育省が管理していますが、イスラーム学校はアズハルとよばれるイスラーム総合機構が管理しています。

*エジプトの中央動員統計局によれば、2023/24 年度の時点で全国の一般学校の学校数および児童生徒数は概ね、小学校(ibtidā‘īya)は 2 万校・1360 万人、中学校(‘i’dādīya)は 1 万 4 千校・610 万人、普通高校(thānawīya ‘āmma)は 5 千校・220 万人、技術高校(thānawīya fannīya)は 3 千校・220 万人でした。なお、上述のイスラーム学校の系統の児童生徒数はいずれの教育段階でも一般学校の 10 分の 1 程度の規模です。



※文部科学省「世界の学校体系: エジプト・アラブ共和国」
https://www.mext.go.jp/component/_menu/other/_ics/Files/afiektfku/2017/10/02/1396071_003.pdf 2022年3月24日閲覧)をもとに筆者作成

図. エジプトの学校系統図